

令和５年度 第１回多治見市かわまちづくり協議会議事録

(要点筆記)

□開催日時 令和５年７月１９日（水） １０時～１１時３０分まで

□開催場所 多治見市役所駅北庁舎 ４階大ホール

□議 事

- １．あいさつ 多治見市長、国土交通省庄内川河川事務所長
- ２．委員委嘱
- ３．委員紹介
- ４．委員長及び副委員長の選出
- ５．議題
 - (１) 令和４年度 専門部会の活動報告について
 - (２) 基盤整備計画について
 - (３) 令和５年度 社会実験の実施について
- ６．その他

□会議の公開 多治見市情報公開条例(平成９年条例第２２号)第２３条の規定により公開

□出席委員 山本 真行、水野 利之、城下 真由美、加藤 賀裕、小口 英二、佐藤 円一郎、西尾 太志、岩塚 慎二、加藤 敬次、飯田 道広、堀 智幸、三浦 弘禎、村瀬 正一
(欠席：村手 洋之、佐竹 貴行、長江 信行、上山 雅正(顧問)、今尾 哲(オブザーバー)) (敬称略)

□事務局 多治見市建設部道路河川課・経済部産業観光課
国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所流域治水課

発言者	発言内容
事務局	令和5年度 第1回多治見市かわまちづくり協議会を開催する。 委員長が選出されるまで司会進行を行う。
1. あいさつ	
高木多治見市長	委員の皆様には、第2期最初の会議にご参集いただき感謝を申上げる。 国土交通省にて各地域の河川について話をした。私はかわまちづくりのPRをしたが、各市は最近突発的な豪雨による災害や洪水など、治水をどうするのか等の深刻な話が多いことが印象深く感じた。 多治見市においては100mm安心プランにより、6月2日も大雨においても影響が少なく安定していた。今後も市として最新の注意を払いながら、市民の安心安全を守ることが大前提ではあるが、多治見市の真ん中を通る土岐川を市民の憩いの場として、まちとしてどのように活用していくかについて協議会の皆さんの意見をしっかりと参考にさせていただきながら、一緒になって励んでいきたい。河川は1歩間違えれば危険ではあるが、活用して憩いの場となるよう、皆様のご意見をいただきながら市政の運営に反映させていただく。
奥中庄内川河川事務所長	本日の協議会は、これまでの活動報告と今年度から工事に着手することで、今後の利活用のアイデアやご意見をいただく場となっております。かわまちづくりの1番大切なところは地域の資源を皆で活かすことです。かわまちづくりとあるとおり河川管理者も関わるわけですが、我々だけではなく地域の皆様と一緒に進める事業ですので、是非ご協力をお願いしたい。 先日、地域の資源を確認するため駅から土岐川の散策路、商店街を通り永保寺まで、自転車や徒歩で散策した際に、現時点でも水辺を利用している方が多いと実感した。今回の新規計画区間と、平成21年から整備している区間が一体的に繋がり、皆様により便利に、そしてより快適に水辺に親しんでいただくことが目標とすることです。 かわまちづくりを通じて、地域の子供たちが地元の川で遊んだ思い出が根付き、住んでいる方がかわまちづくり計画により土岐川が良くなったと思ってもらうことを目指していきたい。
2. 委員委嘱	
事務局	各委員皆様の上承のもと、令和5年3月3日～令和7年3月2日までの2年間、多治見市かわまちづくり協議会設置要綱にもとづき、多治見市長から委嘱をさせていただいた。委嘱状は、机上に配布した。
3. 委員紹介	
事務局	委員の皆様にご自己紹介をいただきたいが、時間の都合もあり、資料1

	の名簿にて、ご紹介に代えさせていただきます。 事務局は、引き続き多治見市役所道路河川課、産業観光課と国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所流域治水課が担当する。
4. 委員長及び副委員長の選出	
事務局	委員長と副委員長は、多治見市かわまちづくり協議会設置要綱第5条の規定により、委員のうちから選出することとなっているが、事務局案を提案してもよいか。 (異議なしの発言あり) 委員長は飯田委員に、副委員長は山本委員にお願いしたいかがいか。 (異議なしの発言あり)
委員長	第1期に引続き委員長を仰せつかりました。皆様のご協力をいただきながら運営していきたい。 市民の多くの方は土岐川に対する想いがあり、心の故郷という部分もあります。人生の先輩方から早く事業を成功させて、市民病院からまずはピアンカのところまで、最終的には永保寺までのルートが整備されるといいといったお声がけをいただく。 微力ながら、しっかり努めていきたい。
副委員長	第2期目の副委員長に就任させていただきました。 土岐川観察館という多治見市で一番川の中を活用する施設に関わり、計画現場の活用についても日頃から模索しています。整備後に皆さんに利活用していただけることを目標に努めていきます。
5. 議題 (1) 令和4年度 専門部会の活動報告	
事務局	年間4回開催し、活動目的などを協議した。 管理推進体制は、「都市・地域再生等利用区域」における制度適用を見据える。令和5年度は社会実験を行う。 事業スケジュールは、取り組み状況により随時見直しを行う。
(2) 基盤整備計画について	
事務局	上流区間の事業説明 令和5年度10月以降より工事着工し今年度は「多目的空間の整備」を行う。全行程の完成までは4年以上かかるため、長いスパンで見直しを図りながら進める。8月末に工事説明会の開催を予定している。
委員長	説明のとおり時間がかかる。社会実験を行い、計画を煮詰めていく。
委員	基盤整備にかかるデザインを観光振興に繋がる魅力的なものにして欲しい。
事務局	地域の皆さんに利用していただくことが1番大事。協議会等をつうじて活用方法を検討しながら設計、工事を進めていく。

委員	このエリアは概ね2年に1回冠水する想定的设计ということか。
事務局	そのとおりで、現在は浸水する頻度が高いが、2年に1回程度になるように整備を進めていく。
委員	桜とハナモモの移植について、河川区域の外側に植えるのか？
事務局	河川区域外の、河川施設に影響がない場所へ移植します。
委員	永保寺やオリバストリートなどは人が集まっているように思える。市外からの人が集まる主要な場所に案内看板をだすのもよいと思う。
委員	特定の時期だけではなく1年間を通していろいろな人が集めるには工夫がいる。人を集めるためにはトイレがかなり重要になる。 ルール作りをしっかりと行えば、川は意外と自由に使える空間となる。
委員長	いろいろな課題をひとつずつ解決しながら進めていく。
(3) 令和5年度 社会実験の実施について	
事務局	①たじみエコカレッジ 6月11日 9:30~12:00 ②リバーピア2023 7月28日 10:00~12:30 ③ガサガサ探検隊 上級編 9月17日 9:30~14:00 ④まち歩き 土岐川編 9月18日 午前中 ⑤自衛隊車両体験搭乗&展示 11月3日 10:00~15:00 エコカレッジにて収集したアンケート結果について報告。
委員長	小さな社会実験を行い参加者の意見を取り入れながら、随時修正してアイデアを模索していきたい。 何でもよいので、委員の皆様には社会実験のアイデアをいただきたい。
委員	集客イベントとして、マルシェがあったらいいと思う。また、中学生の発表の場が少ないため川を活用できるといいと思う。
委員	キャンピングカーなどが利用できるカーステイや、宿泊が心配であればデイキャンプであれば子供たちがクラブ活動などでのバーベキューに活用できればよいと思う。
委員	イベントは計画区域全域ではなく、ある程度区域を特定した方が駐車場整備などやり易いのではないかと思いますので、静かな空間を作ることとも考えながら全体としてのイメージを作ってはどうかと思う。
委員	現状では整備区域への入口や土地境界が分かりにくいですが、進入路の整備は行うのか。また以前のイベント時には渋滞が発生したこともあるため、イベントは不特定多数を対象とするのか、参加人数を限定するのも検討しながら進めていくほうがよいと思う。
事務局	進入路については、地権者との話し合いを行いながら検討していく。 イベントについては昨年度の専門部会においても話があったが、参加人数の抽選や別会場に駐車場を設けるなど検討が必要と考えている。

委員	まちなか回遊ルートを考える中で、虎溪山の中を歩くこともいいと考える。整備方針と合致するルートであれば整備を検討することは可能。
委員	場所が限定されるかもしれないが、電動キックボード体験試乗会の開催。また、地元のそば屋やうどん屋と協力して、ギネスに載るような「流しそうめん」などはどうかと思う。
委員	皆さんからの楽しい意見をお待ちしています。
委員	計画区域を見ていると、夕方に犬の散歩をしていたり、菜の花の時期には写真を撮りに家族連れが来ていた。以前はなかった小さい利用はされているが、現在は草がすごく伸びている状況で、自発的な利用がこのままでは少なくなり、アイデアが生まれにくいのではないかと思う。
委員	土岐川の水質はあまりよくない印象がある。うながっぱとのストーリー性も意識して、うながっぱになったつもりで土岐川を流れてみようなどの企画をやってはどうか。 「まちづくり」の中の一つとしての「かわまちづくり」として進められるとよいのではないかと思う。
委員	四季を意識し、冬に実施する企画も考えるのもよいのではないかと思う。市民はもちろん近隣自治体の住民も巻き込むためにSNSや写真は大切。フォトコンテストを実施して、SNSで発信するなど、仕組みができるとよい。
委員	鮎の放流をおこなったが大水がでた。多治見で鮎漁できればいいと思う。土岐川観察館と協力して、例えば釣り体験などが常時できるような環境を整えればいいと思う。
副委員長	商業利用の社会実験が足りないと感じる。実際にマルシェイベントなど商業利用を行った際の意見を聞くことが大事だと思う。 今回の区域ではボディラフティング等アクティビティには地形が特殊なため、機会があれば力を借りて実施するような大きい社会実験の案としたい。
委員長	その他連絡事項等があれば、事務局から願います。
事務局	○タイルアート施工(案)について説明 豊岡町周辺の土岐川右岸特殊堤全長400mのうち、200m程度を施工したい。工事説明会を8月下旬に予定している。 ○今後の予定 年内に専門部会の開催を予定しており、社会実験の結果報告と、多治見市が行う整備計画(案)の提示を予定している。
委員長	令和5年度 第1回多治見市かわまちづくり協議会を終了する。